

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

心理学専攻プログラム

履修のしかた <ul style="list-style-type: none">• 公認心理師の受験資格希望者は、必須科目が多くあるので留意すること。• 心理学専攻プログラムでの開講科目は積み上げ型のものが多いので留意すること。• 公認心理師、認定心理士の資格取得希望者は、心理学、心理学統計法Ⅰを早い時期に履修しておくこと。両科目は不可を取る学生が多いので特に注意が必要である。• 1年次に履修しておいた方がいい科目：心理学、心理学統計法Ⅰなど• 2年次に履修しておいた方がいい科目：心理学研究法、公認心理師の職責など
他の専攻プログラムとの関係 <ul style="list-style-type: none">• 特に関連性の強い専攻プログラム：教育学（教職教育）、コミュニケーション学、など。• マイナーとして推奨する専攻プログラム：基礎数理、教育学（教職教育）、コミュニケーション学、情報科学、社会学、言語学、メディア（ジャーナリズム）など。• 他の専攻プログラム、他の学群で履修を推奨する科目：認知の科学、現代コミュニケーション理論、対人コミュニケーション、集団コミュニケーション、組織コミュニケーション、社会調査法、確率論と統計学、文化社会学、生徒指導論(生徒理解と教育相談)、生涯学習概論、情報メディアの活用、情報システム論、情報ネットワーク、発達心理学など。
留学・教職その他 <ul style="list-style-type: none">• 留学について：GOプログラムを利用する学生で心理学関係の資格取得を希望する者は、心理学、心理学統計法Ⅰ、心理学研究法を早い時期に修得しておくこと。• 教職について：履修単位数が増えるので留意すること。
学生へのメッセージ <ul style="list-style-type: none">• 当該専攻プログラムの魅力：自己と人間の探求ができる。心身の健康問題の専門家や心理カウンセラーを育てたい。• 来て欲しい学生像、履修学生に望まれる学習姿勢：統計に関する科目や実習科目のレポート提出は苦労が多いはず。それでもがんばれる人。• 専攻プログラムの運営方針（教育方針）：手を抜いていたり、さぼったりしていると単位取得は容易ではない。やや厳しい専攻プログラムであると考えてよい。そのかわり、学ぶ楽しさを実感でき、充実感のある4年間になるはず。• 専攻プログラムの特徴に関する補足的説明 心理の専門職（公認心理師や臨床心理士資格取得）について：カウンセラー・心理臨床家を目指す人は公認心理師や臨床心理士の資格取得が必要です。そのためには大学院へ進学する必要があります。学士課程（LA学群）での成績が良くないと大学院進学が厳しくなりますので、進学希望者は普段から真面目に学習をする必要があります。 本学の大学院では大学院の臨床心理学専攻を修了すれば、公認心理師と臨床心理士の受験資格が得られます。健康心理学専攻を修了すれば、公認心理師と専門健康心理士の受験資格が得られます。

心理学専攻プログラム

1 心理学・履修モデル

本履修モデルは、心理学の基礎から応用領域までをカバーしています。まずは、基礎・方法論の科目を履修しながら心理学に対する誤解や偏見を取り去りましょう。ここで重要な科目は、心理学研究法や心理学統計法Iなどの方法論に関するものです。基礎知識や方法論を身につけたら、次は展開科目へ進みましょう。ここでは、心理学分野のさまざまな科目が開設されていますので、できるだけ多くの科目を履修することをお勧めします。臨床心理学や健康心理学、教育や発達心理学関係の科目などが人気を集めているようです。最後に、実習・演習科目ですが、ここでは心理学に関する実践的な力を身につけるための科目が配置されています。レポートの提出を求められる科目が多いので、苦勞はするかもしれませんが、世の中の様々な現象に対して心理学的な見方や考え方が身につくはずですよ。仕上げは専攻演習(ゼミ)と卒業論文です。ここでより専門的な知識と技術を身につけましょう。特に公認心理師の受験資格を希望する場合は、必要な科目が決まられているので、注意して履修してください。

心理学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎・方法論	◎	PSY1002L	心理学	4	◆	PSY2210L	心理学研究法	2								
	◆	PSY1211L	心理学統計法I	2		PSY2212L	心理学統計法II	2								
展開科目	◆	PSY1003H	公認心理師の職責	2	◆	PSY2131L	学習・言語心理学	2	◆	PSY3300H	関係行政論	2				
	◆	MED1000L	医学一般	4	◆	PSY2151L	感情・人格心理学	2	◆	PSY3131L	知覚・認知心理学	2				
		PSY1060H	健康心理学概論	2	◆	PSY2133L	神経・生理心理学	2	◆	PSY3170L	産業・組織心理学	2				
					◆	PSY2141L	社会・集団心理学	2	◆	PSY3141L	家族心理学	2				
					◆	PSY2156H	障害者(児)心理学	2	◆	PSY3146L	宗教心理学	2				
					◆	PSY2157H	心理的アセスメント	2								
					◆	PSY2155L	心理学的支援法	2								
					◆	PSY2171L	健康・医療心理学	2								
					◆	PSY2172H	福祉心理学	2								
					◆	PSY2170L	教育・学校心理学	2								
					◆	PSY2173H	司法・犯罪心理学	2								
					◆	PSY2121L	生涯発達心理学	2								
					◆	PSY2158L	精神医学	2								
					◆	PSY2154L	臨床心理学概論	2								
	実習・演習									◆	PSY3450H	心理演習I	2			
									◆	PSY3451H	心理演習II	2				
									◆	PSY3511L	心理学実験	2				
										PSY3610L	心理学実験実習	2				
										PSY3460L	社会心理学調査実習	2				
										PSY3411L	心理学統計法演習	2				
									◆	PSY3650H	心理実習	4				

その他の推奨科目

※〔 〕内は単位数

◎ 必修科目

◆ 公認心理師受験資格取得のための必須科目

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

心理学専攻プログラム

履修のしかた <ul style="list-style-type: none">心理学専攻プログラムでの開講科目は積み上げ型のものが多いので留意すること。心理学関係の資格取得希望者は、心理測定法と心理統計法を早い時期に履修しておくこと。心理測定法は2年次秋学期、心理統計法は3年次春学期までに履修していないと認定心理士の資格取得が不可能となる。両科目は不可を取る学生が多いので特に注意が必要である。1年次に履修しておいた方がいい科目：心理学、心理測定法など2年次に履修しておいた方がいい科目：心理統計法、心理学研究法、健康心理学など
他の専攻プログラムとの関係 <ul style="list-style-type: none">特に関連性の強い専攻プログラム：教育学（教職教育）、コミュニケーション学、など。マイナーとして推奨する専攻プログラム：基礎数理、教育学（教職教育）、コミュニケーション学、情報科学、社会学、言語学、メディア（ジャーナリズム）など。他の専攻プログラム、他の学群で履修を推奨する科目：認知の科学、現代コミュニケーション理論、対人コミュニケーション、集団コミュニケーション、組織コミュニケーション、社会調査法、確率論と統計学、文化社会学、生徒指導論(生徒理解と教育相談)、生涯学習概論、情報メディアの活用、情報システム論、情報ネットワーク、発達心理学など。
留学・教職その他 <ul style="list-style-type: none">留学について：GOプログラムを利用する学生で心理学関係の資格取得を希望する者は、心理測定法、心理統計法、心理学研究法を早い時期に修得しておくこと。教職について：履修単位数が増えるので留意すること。
学生へのメッセージ <ul style="list-style-type: none">当該専攻プログラムの魅力：自己と人間の探求ができる。心身の健康問題の専門家や心理カウンセラーを育てたい。来て欲しい学生像、履修学生に望まれる学習姿勢：統計に関する科目や実習科目のレポート提出は苦労が多いはず。それでもがんばれる人。専攻プログラムの運営方針（教育方針）：手を抜いていたり、さぼったりしていると単位取得は容易ではない。やや厳しい専攻プログラムであると考えてよい。そのかわり、学ぶ楽しさを実感でき、充実感のある4年間になるはず。専攻プログラムの特徴に関する補足的説明 心理の専門職（心理カウンセラーや臨床心理士資格取得）について：カウンセラー・心理臨床家を目指す人は臨床心理士の資格取得が必要です。このためには大学院へ進学する必要があります。学士課程（LA学群）での成績が良くないと大学院進学が厳しくなりますので、進学希望者は普段から真面目に学習をする必要があります。 本学の大学院では臨床心理学（臨床心理士第一種指定大学院）と健康心理学を専門的に学ぶことができます。

心理学専攻プログラム

1 心理学・履修モデル

本履修モデルは、心理学の基礎から応用領域までをカバーしています。まずは、基礎・方法論の科目を履修しながら心理学に対する誤解や偏見を取り去りましょう。ここで重要な科目は、心理測定法や心理学研究法、心理統計法などの方法論に関するものです。基礎知識や方法論を身につけたら、次は展開科目へ進みましょう。ここでは、心理学分野のさまざまな科目が開設されていますので、できるだけ多くの科目を履修することをお勧めします。臨床心理学や健康心理学、教育や発達心理学関係の科目などが人気を集めているようです。最後に、実習・演習科目ですが、ここでは心理学に関する実践的な力を身につけるための科目が配置されています。レポートの提出を求められる科目が多いので、苦労はするかもしれませんが、世の中の様々な現象に対して心理学的な見方や考え方が身につくはず。仕上げは専攻演習(ゼミ)と卒業論文です。ここでより専門的な知識と技術を身につけましょう。

心理学専攻プログラム科目

Level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎 ・ 方法論	◎	PSY1002L	心理学	4	○	PSY2210L	心理学研究法	2								
		PSY1160L	健康教育概論	2	○	PSY2211L	心理統計法	2								
	○	PSY1210L	心理測定法	2												
展開 科目		MED1340L	精神保健学	4	○	PSY2120L	生涯発達心理学	4		PSY3130L	認知心理学	4				
					○	PSY2123L	教育心理学(心理学)	4		PSY3140L	家族心理学	4				
					○	PSY2130L	学習心理学	4		PSY3143L	産業・組織心理学	4				
						PSY2132L	生理心理学	2		PSY3153L	心理療法概論	4				
					○	PSY2140L	社会心理学	4	○	PSY3155L	精神医学	4				
						PSY2143L	人間関係論	4		PSY3160L	健康心理カウンセリング概論	2				
					○	PSY2150L	人格心理学	4		PSY3161L	健康心理アセスメント概論	2				
					○	PSY2153L	臨床心理学	4		PSY3157L	学校カウンセリング論	2				
					○	PSY2160L	健康心理学	4	○	PSY3156L	人間性心理学	2				
実習 ・ 演習										PSY3146L	宗教心理学	2				
										PSY3640L	社会心理学調査実習	2				
									○	PSY3510L	心理学基礎実験	2				
									○	PSY3610L	心理学実験実習	2				
									PSY3410L	心理統計法演習	2					
										PSY3660L	健康心理学基礎実習	2				

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕